

人々に笑顔をもたらす交通社会をめざして



沖縄を取り巻く課題

1. 低い公共交通利用！

沖縄県ではバスの利用者が減ってきています。その一方で、自動車の台数は増えています。また、全国では公共交通を利用する人が3割もいるのに、沖縄はたったの3%です。このままバスの利用者が減少すると、バスがなくなるかもしれません。

2. たくさん訪れる観光客！

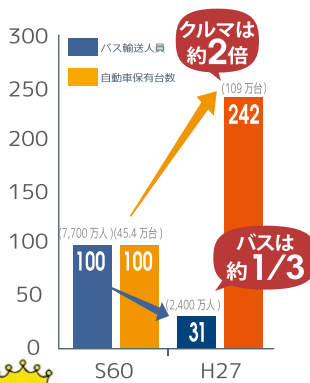
沖縄県では毎年たくさんの観光客が訪れており、今後も増えることが予想されています。たくさんの人を目的地まで運ぶ手段としてバス等公共交通が最も適しています。すべての人が利用しやすい環境を整備していく必要があります。

3. お年寄りの事故増加！

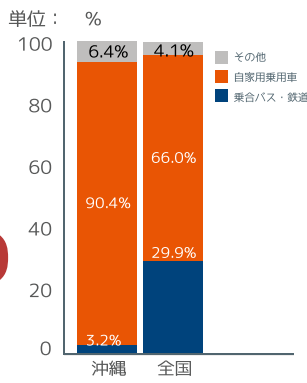
沖縄県では65歳以上の高齢者ドライバーによる交通事故が増えています。さらに高齢者人口は今後も増加します。お年寄りが自動車を使わないで、バスを利用し安全に出かけられる社会環境が必要です。

統計データの出典：運輸要覧、沖縄統計年鑑、旅客地域流動調査（H21）、沖縄入域観光客統計概況、沖縄県交通白書

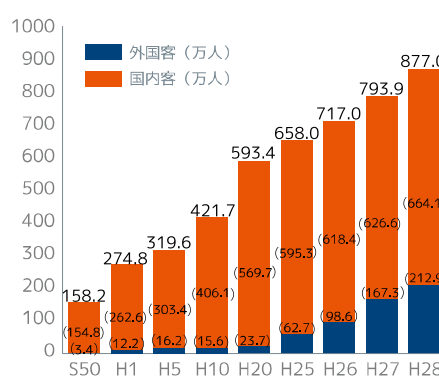
【バス輸送人員、自動車保有台数の変化】



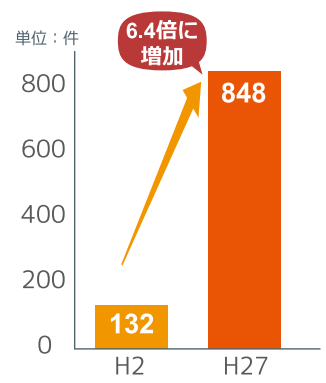
【機関別旅客輸送分担率】



【沖縄への観光客数の変化】

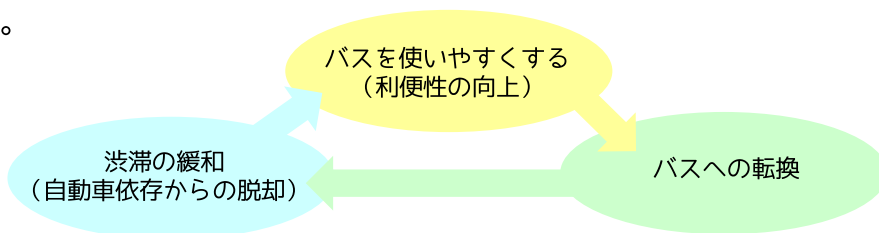


【高齢者の事故発生件数の変化】



より良くするためのサイクル

- バスの利便性を向上させて多くの人々がバス利用へ転換することで渋滞が緩和し、更にバスが使いやすくなります。



使いやすいバスってなに？

- ① 定時・速達性のあるバス（時刻表通り来てくれる、遅れない）
- ② 利便性のあるバス（運行本数がたくさん、行きたい場所にいける）
- ③ 安全性・快適性のあるバス（ミスのないやさしい運転、乗り換えがかんたん）
- ④ シンボル性のあるバス（かっこいい、乗ってみたい）

バスの自動運転技術を取り入れていくことで、すべての人が使いやすいバスをめざします。